

3. 企画展示事業（平成28年度の展覧会）

志賀町・大津市合併10周年記念展「村の古地図―志賀地域を歩く―」の結果について

【会 期】平成29年3月4日（土）～3月26日（日）

【会 場】大津市歴史博物館 企画展示室B

【主 催】大津市、大津市教育委員会、大津市歴史博物館

【共 催】和邇文化センター、木戸市民センター

【観覧料】常設展示観覧料で入場

【入館者数】1,354人

【出陳件数】30件（滋賀県指定文化財1件を含む）

【関連講座】

- 3月5日（日）明治の古地図から見る村々の姿―旧志賀町域を中心に―
古関大樹（京都女子大学非常勤講師）於：和邇文化センター 170名
- 3月11日（土）描かれた江戸時代の村社会
水本邦彦（京都府立大学名誉教授）於：大津市歴史博物館 111名

【展覧会の成果】

- ・旧志賀町域の旧村単位で古地図を展示。時代は、江戸時代～明治時代。
- ・古地図の種類ごとにグルーピングするのではなく、南から北まで各村を歩くように古地図を展示。ただし、最初の導入部分で、全体を貫くポイント「相給村落」「境界争い」「自然と村の関わり」など見方を明示。
- ・古地図のみでは、記載内容が分かりづらいと考え、江戸時代の村絵図についてはトレース図を合わせて展示した。
- ・なぜ古地図が地域に残るのかという点にも注意を引くことができるような展示（保存箱）に留意した。
- ・同時に和邇文化センター・木戸支所においてもパネル展を開催し、地元の方に身近に見てもらえるようにした。
- ・入館者のみ16頁のパンフレットを配布。
- ・三学区（和邇・木戸・小松）の支所・自治連合会を通じて、チラシを各戸配布した。
- ・新聞記事（京都新聞・朝日新聞・中日新聞）他、催し物案内に情報が掲載された。

【反省点と今後について】

- ・旧志賀町各自治会等で所蔵されている古地図類を預り、調査させていただいたが、全地域に関する資料を出すということで、各古地図の内容を深く掘り下げることができなかった。
- ・古地図以外の資料と関連させることができなかった。今後の課題である。



歴史博物館展示室内の風景



和邇文化センターの展示風景



木戸市民センターの展示風景